

梅雨の間近い事を告げる様に紫陽花の彩も鮮やかに美しさを増して参りました。
五月二六日の「女楽」源氏物語“梅枝”は如何で御座いましたでしょうか？
遠く一千年余りの前を思い浮かべて人の心地は昔も今も同じだと思ひ下さった事でしょう。
意味深く華やいだ内にも気品と香りが漂う「梅枝」の三十二帖、今後の展開が待たれる事と存じます。
来年の初夏五月劇場にお身足をお運び頂ける様、企画を練り思案致している次第で御座います。
皆々様との再会を心待ちに致して居ります。

和文化交流普及協会

小川 夏葉